

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成29年度採択）

F S（実行可能性）評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
29-5	交通事故リスクマネジメント手法の研究開発	愛媛大学 教授 吉井 稔雄	B

<研究の概要>

ネットワーク有効活用による安全性向上を目的とし、道路通行時における事故の起こしやすさ（以下「交通事故リスク」）を定量的に評価算定する方法を確立した後、同交通事故リスク情報を活用する交通マネジメント手法を提案・実施して、その有効性を示す。

<FS 評価>

交通事故リスクマネジメント実施による実務的有用性を評価するために必要となる交通事故リスクシミュレーションのプロトタイプを完成させる等の成果をあげているが、具体的なマネジメント手法が不明確であるという課題があるため、指摘事項に留意しながら新規課題として採択することが妥当であると評価する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 交通事故リスクマネジメント手法による交通管制・制御手法の特徴を明らかにするために、従来のアプローチとの関連を明確にしていきたい。
2. 経路選択モデルは研究のコアとも言えるので、その説明変数を工夫し、事故リスク情報と経路選択との関連性をより明確にモデル化していきたい。
3. 生活道路における交通事故リスクの定量的把握の精度を示し、生活道路でのリスクマネジメントを確立していただくことが望まれる。
4. 交通事故の種別や車種の相違に留意が必要である。車の自動制御による事故低減（追突防止等）の影響を事故リスクマネジメントの中でどのように位置づけるのか明確にしていきたいことが望まれる。
5. 道路管理者と連携の上、交通事故リスク情報提供システムを使用した社会実験を行うとともに、その結果を研究にフィードバックしていきたい。

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。